

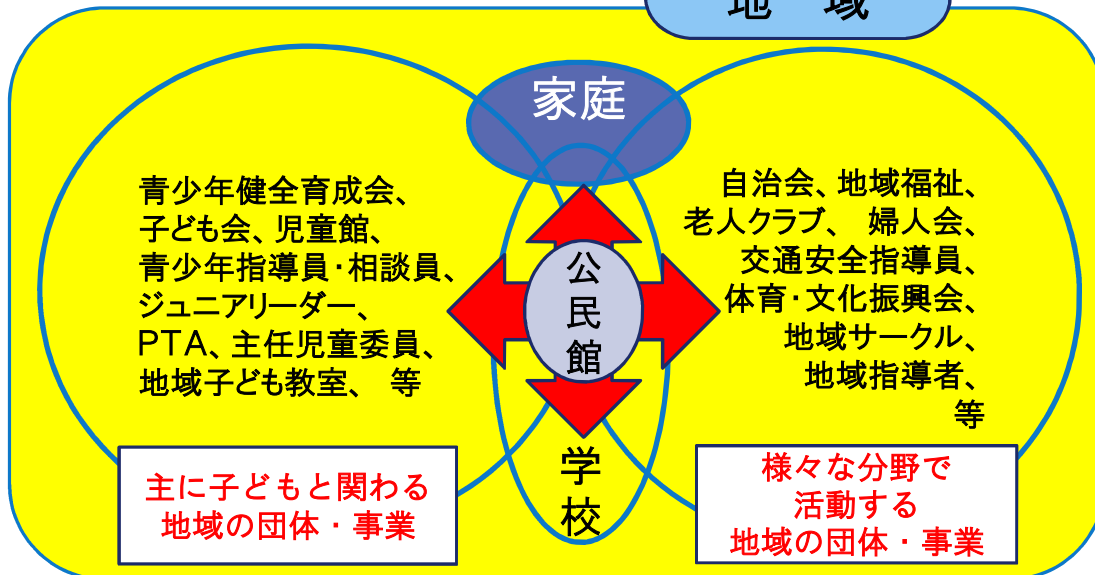
地域ぐるみ家庭教育支援事業の概要

【子どもたちを取り巻く環境の現状】

- 少子高齢化の進展
- グローバル化、情報過多
- 地域間格差・経済的格差の進行
- 核家族化、共働き世帯・ひとり親世帯の増加
- 地域のつながりの希薄化
- 保護者の子育て意識の多様化 等

家庭教育を支援するため、
地域自らが主体となり、
地域の特色と今ある事業を活かしながら、
「地域で子どもを育てる」視点を持った取組

地 域



【こんな事業ができませんか？】

例

- ★ 防災訓練で子どもの体験コーナー
- ★ 地域イベントで子どもスタッフの活躍
- ★ 子どもが企画・運営するバザー
- ★ 高齢者と子どもをつなぐ発表会
- ★ 地域の指導者が企画する子ども体験教室 など

- ◆ 地域で子どもの活躍の場が増える！
- ◆ 保護者が、活躍する子どもを見るために地域に出てくる！
- ◆ 子どもにとって、保護者にとって、地域の人とお互いに知り合いになれる！
- ◆ 子どもが自ら考え行動する場ができる！
- ◆ 地域の人から、子どもが礼儀やマナーを感じとる機会が増える！
- ◆ 地域主体の事業展開で、人材が育つ！

《期待できる効果》

【事業継続のポイント】

- 各団体が協働し、お互いにメリットのある事業づくり
- 大人と子どもがともに楽しみ・学び・育つ、地域づくり
- 「地域で子どもを育てる」気持ちを継続して持ち、できることをできるときに関わっていけるような人材づくり